

# 事業概要

平成29年度

社会保険診療報酬支払基金富山支部

# 目 次

1	事業概況	1
2	幹事、参与及び幹事会	13
3	審査委員及び審査委員会	18
4	契約の履行状況	19
5	保険医療機関(保険薬局)の状況	20
6	平成29年度種別診療報酬支払確定件数・金額及び対比表	21
7	月別取扱件数及び金額	23

---

# 例 言

- 1 本概要は、平成29年度における事業状況を収載したものである。
- 2 単位未満の数字は四捨五入を原則とした。したがって、総計と内容の計とは必ずしも一致しないことがある。
- 3 本概要中「医療保険」として一括掲載した計数は、協会けんぽ(「日雇特例」を含む。)、船員保険、共済組合及び健保組合(「特定健保組合」を含む。)の合計を示したものである。

# 1 事業概況

## (1) 一般状況

### ア 支払基金の現況

社会保険診療報酬支払基金は、これまで国民の皆様に信頼される審査支払の専門機関として、診療報酬の「適正な審査」と「迅速な支払」を通じ、医療保険制度を支えることを基本理念に掲げ取り組んできました。

平成 29 年 7 月 4 日に厚生労働省から「支払基金業務効率化・高度化計画」が公表され、支払基金においては、ICT を最大限活用しつつ、これまで以上に効率的な事業運営と業務品質の向上を追求することが求められております。

これらを踏まえ、平成 29 年度の事業運営においては、改革の方向性を踏まえつつ、審査結果に関する的確な説明や、審査に関する不合理な差異解消のための取組み等を進めました。

具体的には、関係者の審査に対する信頼を確保するため、更なる原審査の充実を図り、再審査査定割合を減少させるという考えのもと、「支部点検条件登録事例の拡充と整理」、「突合点検及び縦覧点検等の充実」、「効率的・効果的な審査事務」、「職員による PDCA サイクルの充実」、「審査結果に関する的確な説明の実施」、「職員による業務研修の充実」、「審査委員との連携の強化」のほか、審査委員及び職員が一丸となって「審査の不合理な差異の解消」、「的確な再審査処理」に取り組みました。

あわせて、個人情報等重要情報を管理するため、支払基金情報セキュリティポリシーを遵守し、情報保護管理体制の強化と事務処理誤りの防止に努めました。

診療報酬等の迅速・適正な支払等については、保険者財政の厳しい中、保険者並びに公費実施機関のご理解とご協力により、納期までに収納し保険医療機関等への支払を完了しました。

このように、富山支部の業務全般が円滑に運営できたことは、ひとえに関係者のご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

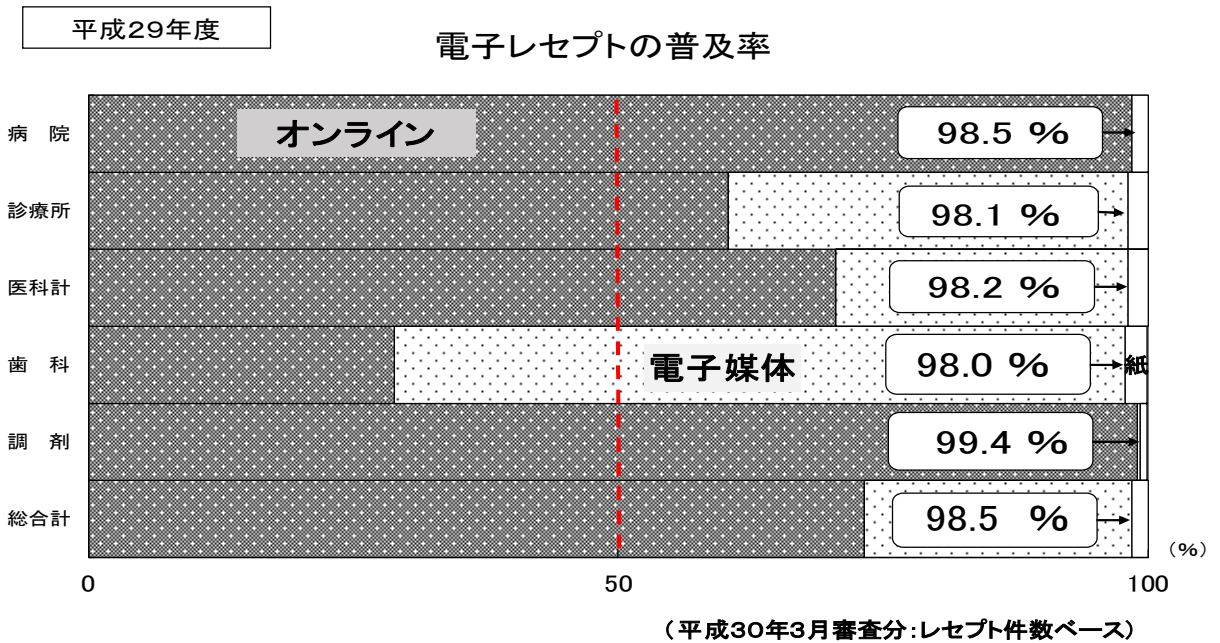
引き続き、支払基金に課せられた公的使命を十分に認識し、関係者からの信頼の維持・向上に努める所存でありますので、今後ともなお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### イ 支部における取組状況

#### (ア) 電子レセプトの請求及び普及状況

平成 30 年 3 月審査分における医療機関等の電子レセプトの請求件数

は、約 58 万件で 98.5%となっており、普及状況については、病院・診療所を含めた医科計が 338,796 件で 98.2%、歯科が 77,322 件で 98.0%、調剤が 168,487 件で 99.4%となっています。



(イ) オンラインによる請求前資格確認の普及取組

「オンラインによる請求前資格確認」については、資格関係誤りレセプトに係る再審査請求の減少並びに被保険者資格の点検を行う保険者及び保険医療機関等の事務処理負担の軽減を図るため、平成 28 年度と同様に、共済組合及び健保組合の事務担当者等との打合せ会において、オンラインによる請求前資格確認の実施結果の状況及びメリットを説明し、普及促進に努めました。

当支部のオンラインによる請求前資格確認に係る平成 29 年 3 月末現在の実施状況については、協会けんぽのほか、健康保険組合については、実施が 6 保険者、未実施が 11 保険者であり、共済組合については全保険者が未実施の状況です。

実施していない保険者については、「資格関係誤りが少ない」等の理由により、実施していない状況となっています。

(ウ) 審査事務

- a 重点審査 A 区分の医療機関のうち、原審査及び再審査の査定点数を勘案し、特に審査事務を重点化すべき医療機関を審査事務区分特 A と設定し、入院・入院外別に選定しました。
- b 職員の審査事務能力と医療機関の難易度を勘案し、職員の審査事務能力に応じた適切な審査事務分担を設定しました。

- c 診療科の特性にも着目し、診療科を絞り診療科の専門的な知識を有効に活用できるよう職員単位による診療科別分担を実施しました。
- d 審査事務に当たっては、担当する医療機関の過去の審査実績を踏まえ、審査事務に要する時間を適切に配分するとともに、特に重点審査事務区分特A及びAについては、担当審査委員の出席予定日を「審査委員在室管理プログラム」により事前に把握するなど計画的な審査事務の実施に努めました。
- e 重点対象医療機関、審査専門部会分及び入院レセプト、更には、電子付せんが貼付されたレセプトの審査事務を優先して実施しました。  
なお、医科の電子レセプトは、「重点化対象外レセプト機能」を活用し、審査事務すべきレセプトを絞り込み、効果的な審査事務の実施に努めました。
- f レセプト電算処理システムの点検条件登録機能を活用し、効率的な審査事務の実施に努めました。
- g コンピュータチェック対象とならない項目は、医療機関（診療科）の特性を踏まえ、レセプト電算処理システムの審査支援機能（抽出機能等）を活用した審査事務の実施に努めました。
- h 原審査・再審査査定点数の目標を医療機関（診療科）ごと及び担当職員ごとに設定し、的確なPDCAの実施に取り組み、目標達成に努めました。
- i 二次点検については、「原審査の充実」を図るため、審査委員会への提出前に十分な時間を確保し、審査専門部会分、入院分及び査定点数の高い医療機関（診療科）の入院外レセプトを対象に実施しました。  
なお、審査専門部会分及び入院分のうち主要な診療科（内科、外科、整形外科、産婦人科）については、診療科別グループで担当者を定め、その他の診療科及び査定点数の高い医療機関（診療科）の入院外レセプトについては係ごとに担当者を定め責任の明確化を図りました。
- j DPCレセプトの出来高部分については、診療科別グループにより点検条件登録の事例から選定した「DPC一括抽出事例一覧」をもとに一括抽出のうえ、重点的な確認を実施しました。また、「DPC審査事務補助ツール」により診断群分類番号の確認を実施するとともに「DPC支部補助ツール」により出来高部分の確認を実施しました。
- k 医療機関によるレセプト作成時の入力誤り（数量や回数桁数誤り等）を異常値ととらえ、コンピュータによるチェックのほか、統計的手法を用いた支部ツールを活用し、これら誤請求事例の確認に取り組みました。

(エ) 審査委員と職員の連携強化

- a 「審査事務重点対象医療機関等（診療科）」については、原審査・再審査の情報を整理し、事前に審査委員から審査事務のポイントについて指示・助言を受け、点検条件登録を行うなど、緊密な連携のもと審査事務の強化に努めました。
- b 審査結果について、これまでの審査結果から疑義があると思われる事例又は理解不足と思われる事例については、担当審査委員に対して積極的に照会し、医学的知識の習得に努めました。
- c 審査事務等において、職員の知識不足による不明な点に対し、審査委員からの確かな説明や指導・指示を受けることにより、審査事務能力の向上に努めました。
- d 職員が審査委員と協議した事項等については、指示連絡票を作成して、登録することにより、情報共有を図り、審査の充実に努めました。

(フ) 審査委員間及び支部間の不合理な差異の解消

- a 再審査査定事例の原審査診療科担当審査委員へのフィードバックを的確に実施し、原審査と再審査の整合性が図られるよう取り組みました。
- b 同一診療科の審査委員間で取扱いに差異がある事例については、診療科別グループのリーダーが中心となり、同一診療科の審査委員間で統一が図られるよう検討・協議の働きかけを行い、取扱いが一致した事例を審査取決事項システムに登録し、情報共有を図るとともに、支部の点検条件登録に取り組みました。
- c 原審査における審査返戻レセプトについては、主任審査委員による確認の結果、返戻から査定又は請求どおりとなったレセプトを原審査診療科担当審査委員へフィードバックし、適正な審査返戻に努めました。
- d 「審査に関する支部間差異解消のための検討委員会」から提示される検討事例及び確認事例について検討・協議を行い、差異解消に努めました。

(ク) 職員研修

職員研修については、平成 29 年度支部研修計画に基づき、審査事務能力の向上を図るため、①医療顧問等による研修（医学的専門知識の解説、審査事務のポイント及び再審査査定事例の解説）、②中央研修資料を活用した研修、③D P C 研修など、職員の習得度に応じた研修を段階的に実施しました。

また、全国一斉の理解度の把握を実施（平成 30 年 1 月、医科・D P

C・歯科及び平成30年2月、調剤)し、更に、その結果に基づき職員個々の審査事務能力に応じたフォローアップ研修を実施して、職員の審査事務能力の向上に努めました。

(キ) 再審査査定割合の減少

- a 入院分については、手術、特定保険医療材料等、高額査定に繋がる診療内容を中心に重点的な審査事務を実施し、高点数の再審査査定の発生防止に努めました。
- b 入院外の再審査査定に対しては、再審査査定事例の点検条件医療機関別登録を徹底しました。
- c 保険者等から請求があったレセプトの再審査処理については、審査事務を担当した職員の責任の明確化を図り、綿密な審査事務を実施するため、再審査事務から再審査処理後の確認までの一貫処理を実施しました。
- d 保険者からの再審査申出については、審査前に職員による点検・確認を実施し、請求理由が不明確なものは保険者に照会し、請求理由の明確化に取り組みました。
- e 再審査において一概に審査決定することが困難で、診療内容から判断して医療機関に症状詳記を求める必要があると思われる事例は、医療機関に対する症状詳記を求めるための文書照会を行い、適正な再審査に努めました。
- f 再審査部会終了後のレセプトは、診療科別グループによる全件確認を実施し、確認の結果、審査判断に疑義があると思われる事例については「質問票(付せん)」を貼付して、主任審査委員等への確認を実施しました。

また、査定となったレセプトについては、係ごとに係長等が責任区分及び査定内容の確認を行い、審査判断に疑義があると思われる事例については、同様に主任審査委員等への確認を実施しました。

- g 再審査査定事例の原審査診療科担当審査委員へのフィードバックを的確に実施し、原審査と再審査の整合性が図られるよう取り組みました。
- h 毎月、開催される全国健康保険協会富山支部及び健康保険組合との審査結果に関する打合せ会において、原審どおりの理由、算定ルール及び審査上の考え方等を分かりやすく丁寧に説明するなど、審査結果について十分な理解が得られるよう取り組みました。

(ク) 審査状況 (P7「支払基金富山支部における審査状況」参照)

- a 平成29年度において、原審査については前年度に対して件数は下回

り、点数は上回る実績でした。

なお、突合点検については、前年度の実績を件数で上回り、点数で下回る状況でした。縦覧点検は、件数、点数ともに下回る状況でした。

b 再審査の状況において、保険者再審査については、前年度に対し申出件数は増加しました。

また、医療機関再審査については、前年度に対し、申出件数は減少しました。

c 突合再審査については、前年度に対し査定状況は件数及び点数ともに減少し、審査返戻も同様に件数、点数ともに減少している状況です。

d 資格返戻については、オンライン請求の利点を活用し現在、請求前資格確認を協会けんぽ等の申出保険者に対して実施しており、その効果により年々、資格返戻件数は減少傾向を示しています。

e 最下段の査定・返戻等の合計（点数）の 134,714 点（千点）については、対前年度比として、約 22.3%の増加となっております。



## 支払基金における審査状況 平成29年度

(医科歯科計,全請求者分)

平成29年4月審査分～平成30年3月審査分

処理区分		全管掌分									
		件数	請求1万件 当たり件数	点数	請求1万点 当たり点数	対前年増減率					
						件数	請求1万件 当たり件数	点数	請求1万点 当たり点数		
		(件)	(件)	(千点)	(点)	(%)	(%)	(%)	(%)		
原 審 査	請求	5,116,958	-	9,522,636	-	▲ 0.3	-	1.3	-		
	査定	26,415	51.6	13,696	14.4	▲ 15.0	▲ 14.8	▲ 9.9	▲ 11.1		
	単月点検分	18,799	36.7	11,646	12.2	▲ 21.8	▲ 21.6	▲ 11.1	▲ 12.3		
	突合点検分	4,239	8.3	1,227	1.3	27.7	28.0	▲ 0.9	▲ 2.2		
	縦覧点検分	3,377	6.6	823	0.9	▲ 9.1	▲ 8.9	▲ 3.8	▲ 5.1		
保 険 者 等 の 申 出 に よ る 調 整	再 審 査	保 険 者	原審どおり	51,026	99.3	-	-	19.7	18.1	-	-
			単月点検分	32,262	62.8	-	-	22.3	20.6	-	-
			突合点検分	9,151	17.8	-	-	3.9	2.4	-	-
			縦覧点検分	9,613	18.7	-	-	29.4	27.6	-	-
		査定	9,609	18.7	3,928	4.2	▲ 8.2	▲ 9.5	18.6	17.6	
		単月点検分	4,153	8.1	1,799	1.9	▲ 5.1	▲ 6.4	18.9	17.9	
		突合点検分	2,190	4.3	698	0.7	▲ 15.1	▲ 16.3	▲ 8.0	▲ 8.8	
		縦覧点検分	3,266	6.4	1,431	1.5	▲ 7.0	▲ 8.3	37.4	36.2	
		審査返戻	254	0.5	3,362	3.6	▲ 50.5	▲ 51.2	▲ 52.1	▲ 52.5	
		計	60,889	118.4	-	-	13.6	12.0	-	-	
	医 療 機 関	原審どおり	1,050	2.0	-	-	▲ 6.2	▲ 7.5	-	-	
		査定	742	1.4	▲ 1,206	▲ 1.3	▲ 2.6	▲ 4.0	94.7	93.1	
		計	1,792	3.5	-	-	▲ 4.7	▲ 6.0	-	-	
	資 格 返 戻 等	資格返戻	8,036	15.7	22,970	24.1	▲ 17.9	▲ 17.7	▲ 10.1	▲ 11.2	
		事務返戻	1,011	2.0	20,077	21.1	▲ 24.7	▲ 24.5	342.7	337.1	
		その他	4,716	9.2	71,886	75.5	▲ 14.1	▲ 13.9	30.3	28.6	
	査定・返戻等の合計(点数)		-	-	134,714	-	-	-	22.3	-	

注 1:「請求1万件(点)当たり件数(点数)」は、原審査請求件数(点数)に対するものである。ただし、再審査の「請求1万件(点)当たり件数(点数)」は、4～6か月前平均原審査請求件数(点数)に対するものである。  
 2:「査定・返戻等の合計(点数)」は、原審査査定及び保険者等の申出による調整の点数の合計である。

#### (ケ) 地方単独医療費助成事業の受託

地方単独医療費助成事業の審査支払業務の受託に向けた取り組みについては、8月から3月にかけて県下10市町村の担当者に対し訪問懇談を実施し、基金に委託した場合のメリット、事務手数料、高額療養費の取扱い及び基金が受託している自治体の全国の医療費助成事業に係る審査支払業務の受託状況等について説明するなど働きかけを行いました。

#### (コ) 関係者団体等との打合せ状況

毎月、保険者が主催する打合せ会等に積極的に参加し、再審査事例を解説するなど説明責任の履行に努めました。

3月に健康保険組合との打合せ会及び共済組合等との打合せ会を開催し、医療保険制度を支える支払基金の存在意義が理解されるよう、支部独自の各種取り組みや審査実績等について状況報告を行いました。

#### (カ) 情報セキュリティ関係

a 平成24年8月に策定された「コンプライアンスの手引き」を活用し、コンプライアンスについて、全職員に周知・徹底を行いました。

b 業務上、重要かつ膨大な個人情報を取り扱うことから、情報セキュリティポリシーの厳格な運用を図るため、平成29年9月から10月にかけて職員、新任審査委員及び臨時職員を対象として情報漏えい等の未然防止に関する認識度を確保するとともに、「情報セキュリティポリシーに基づく教育・訓練等」を実施し、認識不足の点についてフォローアップを実施しました。

### (2) 幹事会の運営状況

ア 保険者代表、被保険者代表、診療担当者代表及び公益代表各2名の幹事8名と参与3名の計11名で構成され、原則として毎月第2週の木曜日に開催しました。

イ 議題については、毎月、理事会の議題のうち幹事会で協議（報告）すべき重要な事項を選定するほか、自支部の最重要課題（審査充実方策に係る取り組み、支部の審査実績等）についても議題とするなど、支部が積極的に取り組んでいる事項について説明を行うとともに、幹事会における意見・要望等が支部の事業運営に反映できるよう努めました。

ウ 説明資料は、支部定例報告を含めパワーポイントにより作成するとともに、支部の審査実績等については、全国と比較してその推移等を示すなど、分かり易く丁寧な説明に努めました。

### (3) 審査委員会の運営状況

ア 審査委員会は、定数60名（医科48名、歯科9名、調剤3名）をもって構成し、審査所定日数は4日間、開催時期は概ね17日から31日までの間

に開催し、審査委員会会期の最終日の第2次審査において、審査委員の合議による当月審査分の審査決定を行いました。

イ 審査従事時間の確保を図るため、審査委員のニーズに合わせた審査応需体制等の充実を図りました。

ウ 各種委員会等の運営状況は、次のとおりです。

(ア) 審査運営委員会は、審査委員会初日と会期後に開催し、審査委員会の運営に関する事項、審査関係諸会議の協議事案に関する事項、審査方法に関する事項、国保連合会との連絡調整に関する事項、その他審査全般に関する重要な事項及び審査結果の確認に関する事項等について協議を行い、審査委員会の円滑な運営に努めました。

(イ) 審査専門部会は、5万点（DPCは8万点）以上の高点数明細書について重点的な審査を行うとともに、特に、診療内容が複雑多岐となっている20万点以上の明細書は、更に入念な審査を行うため、複数の審査専門部会員による審査を実施し、審査の充実に努めました。

(ウ) 再審査部会は、処理期間の標準化を図るため、月初に開催し、保険者及び保険医療機関からの再審査請求について、迅速・適正な処理の実施に努めました。

(エ) 審査研究会は、審査の適正・充実並びに審査委員間の差異解消を図るため、毎月開催し、審査に関する諸規程、通達、疑義解釈等の周知徹底に努めました。

#### (4) 診療報酬の収入状況

##### ア 委託金

平成29年度の委託金については、政令により診療報酬の0.15か月分相当額とされており、これに基づき平成29年4月に調整を行った結果、追加請求となった健保組合が4組合、返還を行った組合数は健保組合が4組合でありましたが、保険者各位の理解と協力により、平成29年4月末日に返還・収納が完了しました。

なお、共済組合につきましては、請求、返還はありませんでした。

##### イ 診療（調剤）報酬

委託金及び診療報酬等の収納状況は、保険者の財政状況が厳しい中、保険者並びに関係方面のご理解とご協力により、納期内に100%の収納となりました。

#### (5) 診療（調剤）報酬の支払状況

診療報酬等の支払については、年間支払計画に基づき、各月分とも納入の翌日（原則として診療翌々月の21日）に支払いました。

(6) 確定件数及び金額の状況

ア 平成 29 年度の確定件数は約 708 万件で、前年度と比較すると 0.1%の増であり、医科では 0.3%の増、歯科では 0.9%の減、調剤では 2.7%の増となりました。

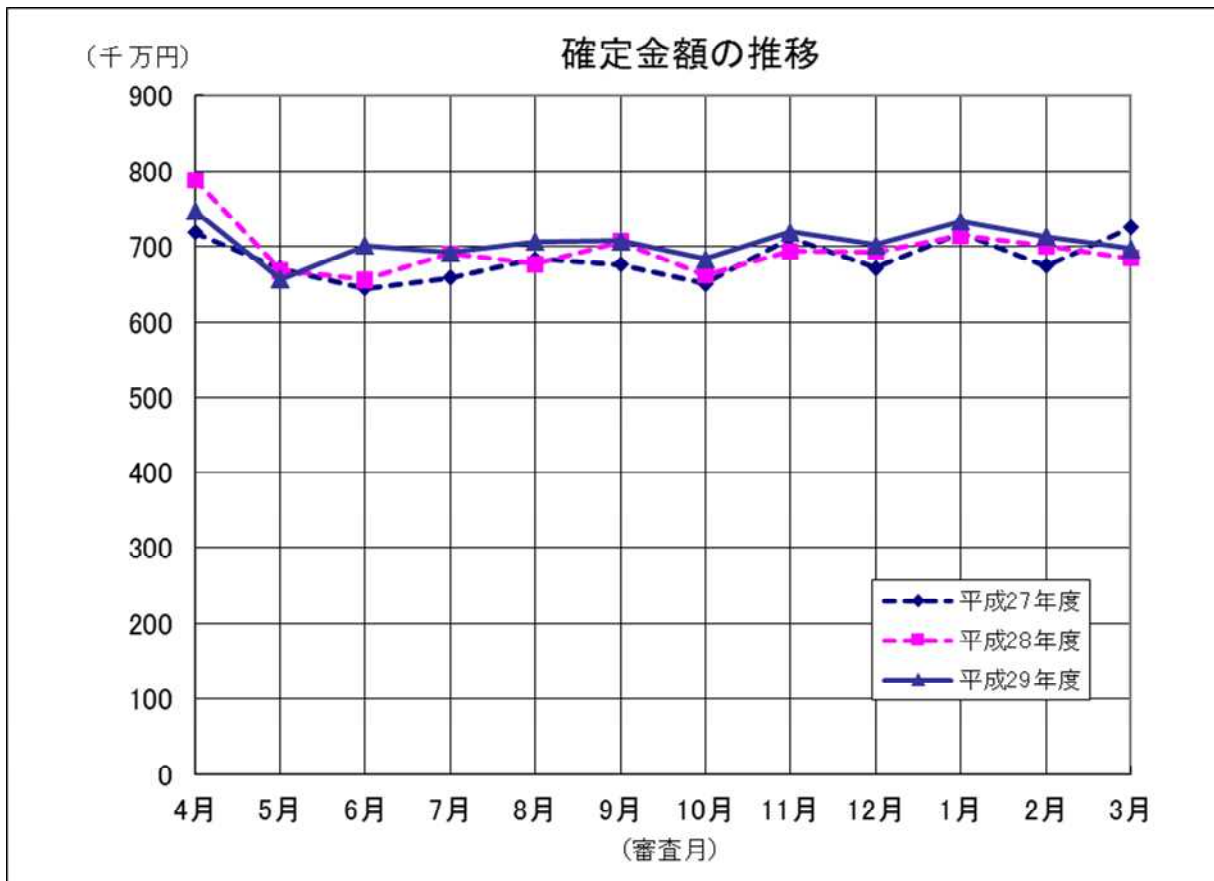
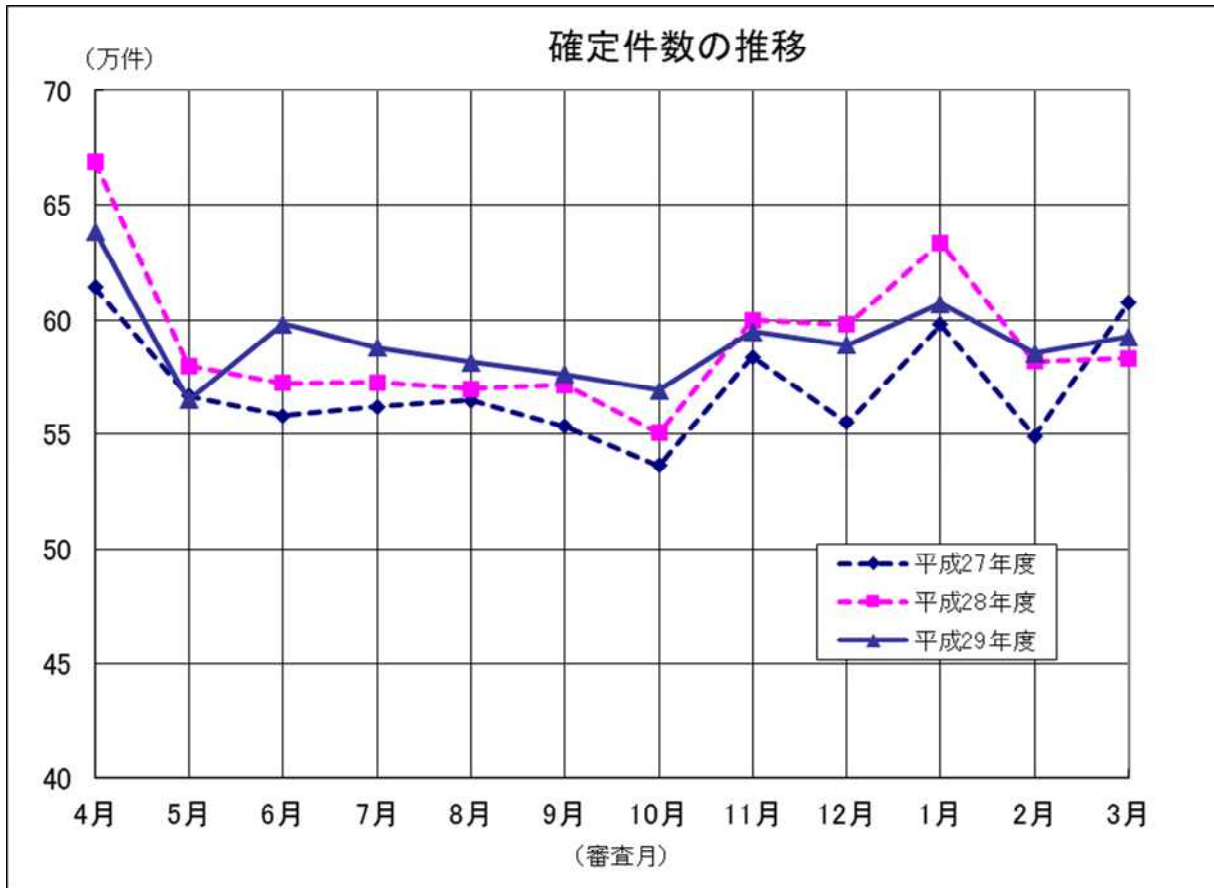
イ 確定金額は約 845 億円で、前年度と比較すると 1.5%の増であり、医科では 1.7%の増、歯科では 0.7%の増、調剤では 2.1%の増となりました。

ウ 月平均確定件数は約 59 万件、金額は約 70 億 4 千万円となっており、特に、平成 29 年 3 月分（4 月処理分）件数は約 3 万 8 千件、金額については平成 29 年 3 月分（4 月処理分）約 74 億 6 千万円と、平成 29 年度の最高となりました。

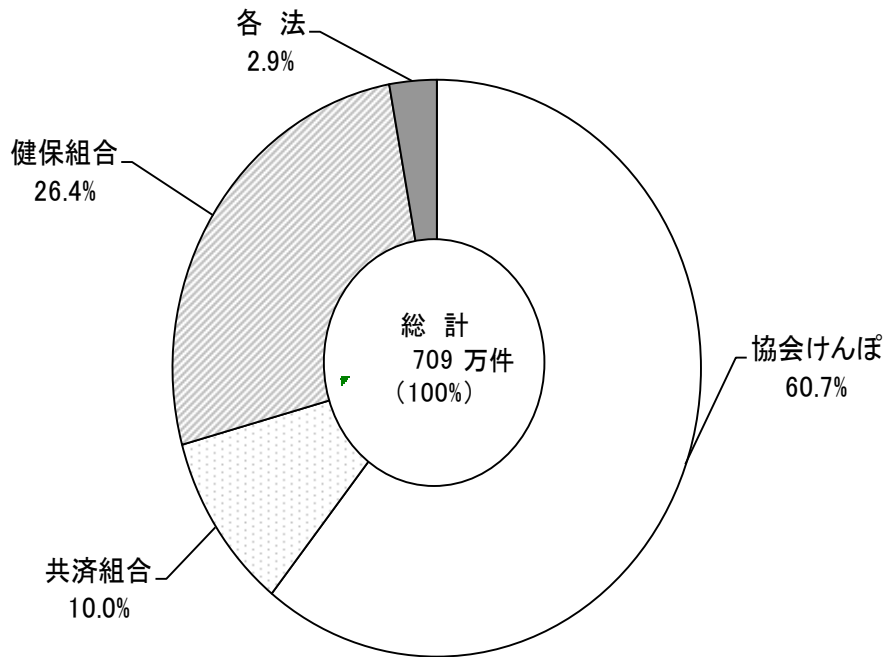
年度別取扱件数及び金額の推移

区分 年度	件 数		金 額	
	実 績 (件)	前年度対比 (%)	実 績 (千円)	前年度対比 (%)
25	6,550,100	101.1	77,821,172	101.5
26	6,661,392	101.7	78,764,975	101.2
27	6,850,364	102.8	82,029,814	104.1
28	7,082,830	103.4	83,333,278	101.6
29	7,086,452	100.1	84,574,531	101.5

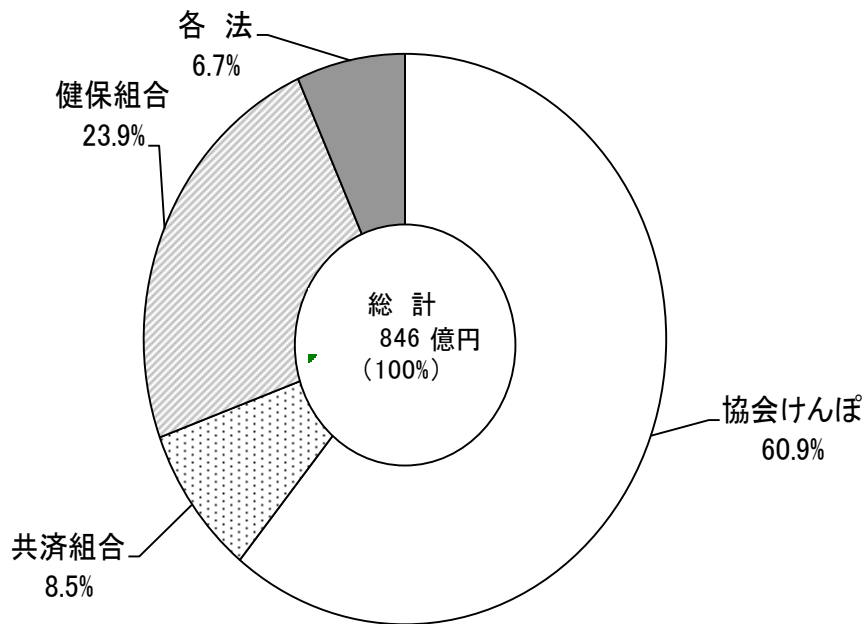
過去3年間の月別確定件数・確定金額の推移



平成29年度 管掌別取扱件数の割合



平成29年度 管掌別取扱金額の割合



## 2 幹事、参与及び幹事会

### (1) 年度内異動役員

区分	役員別	代表別	氏名	異動年月日	職名又は所属団体名
解嘱	幹事	保険者	目澤 裕之	29. 6. 30	北陸電力健康保険組合常務理事
	〃	被保険者	尾谷 康弘	29. 10. 31	日本労働組合総連合会富山県連合会会長
	〃	診療担当者	小関 支郎	29. 6. 30	富山県医師会副会長
	〃	〃	野田 修	29. 5. 31	富山県歯科医師会副会長
委嘱	幹事	保険者	小田原 健二	29. 7. 1	北陸電力健康保険組合常務理事
	〃	被保険者	辻 政光	29. 11. 1	日本労働組合総連合会富山県連合会会長
	〃	診療担当者	炭谷 哲二	29. 7. 13	富山県医師会副会長
	〃	〃	山崎 安仁	29. 6. 1	富山県歯科医師会会長
	〃	公益	羽田 聖司	29. 4. 1	社会保険診療報酬支払基金富山支部支部長
	参与		助野 吉昭	29. 4. 1	富山県厚生部健康課長

### (2) 平成30年3月31日現在役員

役員別	代表別	氏名	委嘱年月日	職名又は所属団体名
幹事	保険者	松井 泰治	27. 10. 1	全国健康保険協会富山支部支部長
	〃	小田原 健二	29. 7. 1	北陸電力健康保険組合常務理事
	被保険者	西村 博邦	24. 9. 1	富山県社会保険委員会連合会会長
	〃	辻 政光	29. 11. 1	日本労働組合総連合会富山県連合会会長
	診療担当者	炭谷 哲二	29. 7. 13	富山県医師会副会長
	〃	山崎 安仁	29. 6. 1	富山県歯科医師会会長
	公益	羽田 聖司	29. 4. 1	社会保険診療報酬支払基金富山支部支部長
参与	〃	鏡森 定信	22. 9. 1	独立行政法人労働者健康福祉機構 富山産業保健推進センター所長
		石浦 登	28. 4. 1	富山県厚生部厚生企画課長
		助野 吉昭	29. 4. 1	富山県厚生部健康課長
		西尾 公秀	26. 7. 1	公益社団法人富山県薬剤師会会長

## (3) 幹事会開催状況

回次	年月日	場所	出席役員数	主要議題
781	H29. 4. 13	富山支部	8人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成29年4月期の人事異動について</li> <li>2 参与の委解嘱について</li> <li>3 役員を選任について</li> <li>4 平成29事業年度特別会計予算、事業計画及び資金計画（案）について</li> <li>5 平成29事業年度社会保障・税番号制度会計事業計画及び収入支出予算（案）について</li> <li>6 社会保険診療報酬支払基金退職者医療関係業務方法書の一部変更（案）について</li> <li>7 職員採用に対する考え方について</li> <li>8 「平成28事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計予算、事業計画及び資金計画の変更」及び「社会保険診療報酬支払基金高齢者医療制度関係及び病床転換助成事業関係業務方法書の一部変更」の認可について</li> <li>9 保険者との打合せ会の開催状況について</li> <li>10 富山支部平成29事業年度事業計画（要点）について</li> </ol>
782	H29. 5. 11	富山支部	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 役員選任の認可について</li> <li>2 平成29年度富山支部における委託金の状況について</li> <li>3 平成29事業年度一般会計及び特別会計の予算等の認可について</li> <li>4 社会保険診療報酬支払基金退職者医療関係業務方法書の一部変更の認可について</li> <li>5 継続雇用制度の改正について</li> <li>6 平成28年度全国基金審査委員長会議の検討協議結果について</li> <li>7 支払基金における審査の一般的な取扱い(医科)の公表(第1回)について</li> <li>8 医療保険と障害者総合支援法による更生医療(法別番号「15」)の併用分における中間所得層の患者に係る高額療養費の算出誤りについて</li> <li>9 平成28年度監事監査振り返り及び平成29年度監事監査計画について</li> <li>10 平成29年度内部監査計画等について</li> <li>11 支払基金業務効率化計画・工程表の検討状況について</li> </ol>
783	H29. 6. 8	富山支部	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 幹事の委解嘱について</li> <li>2 平成29年度委託金の状況について</li> <li>3 平成28年度診療報酬等債権譲渡・差押等処理状況について</li> <li>4 平成30年度新規職員採用者数について</li> <li>5 平成29年6月審査委員の改選状況等について</li> </ol>



回次	年月日	場所	出席役員数	主要議題
784	H29. 7. 13	富山支部	9人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 幹事の委解嘱について</li> <li>2 「国民の健康確保のためのビッグデータ活用推進に関するデータヘルス改革推進計画・工程表」及び「支払基金業務効率化・高度化計画・工程表」について</li> <li>3 顧問の選任について</li> <li>4 平成28事業年度決算について</li> <li>5 平成29事業年度社会保障・税番号制度会計事業計画及び収入支出予算の変更(案)について</li> <li>6 平成29事業年度一般会計(社会保障・税番号制度勘定)収入支出予算(案)について</li> <li>7 平成29事業年度認可事業特別会計予算、事業計画及び資金計画の変更(案)について</li> <li>8 社会保険診療報酬支払基金介護保険関係業務方法書の一部変更(案)について</li> <li>9 監事監査報告について</li> <li>10 平成29年度支部監事監査の結果について</li> <li>11 平成28年度診療報酬等確定状況(平成28年4月診療分～平成29年3月診療分)</li> <li>12 平成28年度における審査状況(平成28年5月審査分～平成29年4月審査分)</li> <li>13 平成29年6月審査委員改選の状況について</li> <li>14 平成28年度特別審査委員会の取扱状況(平成28年5月審査分～平成29年4月審査分)</li> </ol>
785	H29. 8. 10	富山支部	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 幹事の委解嘱について</li> <li>2 辞職に伴う理事長特任補佐の職務解除について</li> <li>3 参与の選任について</li> <li>4 平成28事業年度後期高齢者医療等特別会計の決算の承認について</li> <li>5 社会保険診療報酬支払基金介護保険関係業務方法書の一部変更の認可について</li> <li>6 平成29年度における職員の中途採用について</li> <li>7 平成28年度厚生労働省情報セキュリティ監査結果について</li> <li>8 監事意見に対する取組みの進捗状況について</li> </ol>
786	H29. 9. 14	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 支部総合監査の実施結果について</li> <li>2 平成29年度総報酬割導入に伴う介護給付費・地域支援事業支援納付金の決定状況について</li> <li>3 第12次審査情報提供(歯科)について</li> </ol>

回次	年月日	場所	出席役員数 人	主要議題
787	H29.10.5	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 審査事務の集約に向けた実証テストの実施について</li> <li>2 審査関係訴訟事件について</li> <li>3 第17次審査情報提供（医科）について</li> <li>4 「支払基金における審査の一般的な取扱い（医科）」の公表（第2回）について</li> <li>5 平成29年度支部監事監査の結果について</li> </ol>
788	H29.11.9	富山支部	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 幹事の委解嘱について</li> <li>2 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等請求代理人弁護士事務所の業務停止に係る対応について</li> <li>3 基金関係功績者に対する厚生労働大臣表彰について</li> <li>4 内部監査結果報告（平成29年度上半期）について</li> <li>5 資格関係誤りレセプトの発生防止強化期間（平成29年11月～平成30年2月）の取組みについて</li> <li>6 平成29年度前期富山支部の取組み状況及び後期の取組みについて</li> </ol>
789	H29.12.14	富山支部	7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「支払基金における審査の一般的な取扱い（医科）」の公表（第3回）について</li> <li>2 地方単独医療費助成事業の受託に向けた取組み状況について</li> <li>3 未コード化傷病名の解消に向けた取組みについて</li> </ol>
790	H30.1.11	富山支部	9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「平成29年3月末現在における診療報酬等収支整理不能額」の処理について</li> <li>2 平成29年度支部監事監査の結果について</li> <li>3 情報保護管理の徹底について</li> </ol>
791	H30.2.8	富山支部	9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会保険診療報酬支払基金定款の変更（案）について</li> <li>2 平成30年度一般会計収入支出予算等の手数料について</li> <li>3 平成29年度山形支部監事監査の結果報告について</li> <li>4 監事意見に対する取組みの進捗状況について</li> <li>5 懲戒処分について</li> </ol>

回次	年月日	場所	出席役員数	主要議題
792	H30.3.15	富山支部	8 人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 審査支払機関改革における支払基金での今後の取組みの公表について</li> <li>2 平成30事業年度一般会計事業計画（案）について</li> <li>3 平成30事業年度一般会計収入支出予算（案）（事務費勘定）について</li> <li>4 平成30事業年度一般会計収入支出予算（案）（高齢者医療制度円滑導入勘定）について</li> <li>5 平成30事業年度一般会計収入支出予算（案）（社会保障・税番号制度勘定）について</li> <li>6 平成29事業年度社会保障・税番号制度会計事業計画及び収入支出予算の変更（案）（社会保障・税番号制度準備勘定）について</li> <li>7 平成29事業年度病床転換助成事業特別会計予算、事業計画及び資金計画の変更（案）について</li> <li>8 平成29事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計予算、事業計画及び資金計画の変更（案）について</li> <li>9 保険者との契約の改定（案）について</li> <li>10 第18次審査情報提供（医科）及び第13次審査情報提供（歯科）について</li> <li>11 「支払基金における審査の一般的な取扱い（医科）」の公表（第4回）について</li> <li>12 平成31年度新規職員採用計画について</li> <li>13 東京支部・奈良支部監事監査の結果報告について</li> </ol>

### 3 審査委員及び審査委員会

#### (1) 年度内異動委員

代表別 区 別	診療担当者	保 険 者	学識経験者
年 度 当 初	20名	20名	20名
解 嘱	2名	4名	3名
委 嘱	2名	4名	3名
年 度 末	20名	20名	20名

#### (2) 審査委員会開催状況

月 別 区 別	29年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月
審 査 期 間	自 21 日 至 26 日	自 25 日 至 30 日	自 23 日 至 28 日	自 26 日 至 31 日	自 24 日 至 29 日	自 22 日 至 27 日	自 25 日 至 30 日	自 24 日 至 29 日	自 20 日 至 25 日	自 25 日 至 30 日	自 23 日 至 28 日	自 23 日 至 28 日
審査実施日数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
審査委員数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	59
審査委員一人当 取 扱 件 数	10,715	9,488	10,046	9,875	9,767	9,676	9,560	9,995	9,894	10,189	9,831	10,114

#### 4 契約の履行状況

種別 月別	協会けんぽ (船員)	共済組合				健保組合				感染症による県及び市	生活保護による市及び町村
		合計	主たる事務所	従たる事務所	従に準じるもの	合計	主たる事務所	従たる事務所	従に準じるもの		
平成29年4月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
5月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
6月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
7月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
8月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
9月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
10月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
11月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
12月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
平成30年1月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
2月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11
3月	2	10	1	7	2	17	17	0	0	2	11

備考 上記以外の各法分は、省略している。

## 5 保険医療機関（保険薬局）の状況

種別 月別	医 科		歯 科		調 剤		訪問看護ステーション	
	保 険 医 療 機 関	保 険 者 の 指 定 し た る もの	保 険 医 療 機 関	保 険 者 の 指 定 し た る もの	保 険 薬 局	保 険 者 の 指 定 し た る もの		
平成29年4月	720	0	466	0	422	0	39	
5月	724	0	465	0	421	0	37	
6月	726	0	461	0	422	0	40	
7月	725	0	461	0	421	0	41	
8月	721	0	461	0	424	0	39	
9月	721	0	459	0	424	0	40	
10月	719	0	457	0	422	0	41	
11月	723	0	460	0	429	0	44	
12月	724	0	459	0	430	0	44	
平成30年1月	720	0	458	0	431	0	47	
2月	718	0	451	0	431	0	45	
3月	実数	751	0	479	0	461	0	81
	請求数	719	0	457	0	433	0	44

備考 本表は、当月中に請求書の提出のあった医療機関等数を示したものである。

ただし、3月に掲げた「実数」は当月末現在の医療機関数である。

平成 29 年度 種類別診療報酬等確定件数・金額及び対比表

(件数)

平成 29 年 3 月 診療分 ～ 平成 30 年 2 月 診療分

(16) 富山 支部

種別 管掌別	合計		医科入院		医科入院外		歯科		調剤		食事・生活療養費		訪問看護療養費		
	件数	前年度 対比 %	件数	前年度 対比 %	件数	前年度 対比 %	件数	前年度 対比 %	件数	前年度 対比 %	件数	前年度 対比 %	件数	前年度 対比 %	
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	
協会けんぽ	4,300,235	100.1	41,919	100.4	2,436,639	99.1	620,881	102.8	1,199,249	100.7	36,744	100.4	1,547	109.6	
船員保険	4,114	99.2	53	86.9	2,304	99.4	517	95.7	1,230	101.4	44	83.0	10	58.8	
共済組合	707,499	98.3	6,391	99.5	405,174	97.2	105,066	101.6	190,533	98.8	5,194	99.6	335	145.7	
健保組合	1,870,435	100.2	17,418	101.2	1,057,164	99.2	279,344	102.9	515,864	100.9	14,447	100.5	645	119.2	
医療保険合計	6,882,283	99.9	65,781	100.5	3,901,281	98.9	1,005,808	102.7	1,906,876	100.5	56,429	100.3	2,537	115.4	
老人保健	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自衛官等	1,097	97.3	18	120.0	619	93.4	180	101.7	280	102.6	17	106.3	-	-	
生活保護	61,751	99.8	4,628	96.2	32,740	100.0	3,613	99.6	20,556	100.2	4,400	96.6	214	129.7	
戦傷病者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自立支援	80,866	108.0	1,230	94.6	52,088	105.5	469	85.9	26,530	113.8	225	94.9	549	176.5	
児童福祉	649	103.2	493	95.5	156	138.1	-	-	-	-	434	96.2	-	-	
原爆医療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
精神保健	73	202.8	71	197.2	-	-	2	-	-	-	70	194.4	-	-	
麻薬取締	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
母子保健	428	102.4	428	102.4	-	-	-	-	-	-	380	112.4	-	-	
中国残留邦人等	175	93.6	6	-	90	89.1	8	61.5	71	97.3	6	-	-	-	
感染症	507	162.5	43	153.6	366	166.4	-	-	98	153.1	24	126.3	-	-	
医療観察	382	117.9	338	118.6	44	133.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
肝炎治療	2,798	94.1	15	93.8	687	78.5	-	-	2,096	100.7	-	-	-	-	
老人被爆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特定疾患等	301	106.4	4	133.3	218	105.3	3	-	76	104.1	5	166.7	-	-	
小児慢性	7,822	104.7	420	113.2	4,735	102.3	11	...	2,556	106.7	311	103.0	100	142.9	
措置等医療	1,414	100.6	42	64.6	918	102.5	94	72.9	360	114.3	33	51.6	-	-	
難病医療	45,798	103.4	1,317	100.2	24,584	103.3	24	...	19,542	104.1	494	66.8	331	86.9	
特定B型肝炎	52	144.4	-	-	52	144.4	-	-	-	-	-	-	-	-	
石綿救済	56	200.0	6	300.0	26	216.7	-	-	24	171.4	6	300.0	-	-	
自治体医療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
総計	7,086,452	100.1	74,840	100.3	4,018,604	99.1	1,010,212	102.7	1,979,065	100.7	62,834	99.7	3,731	119.2	
被保険者	協会けんぽ	2,165,314	101.2	19,315	103.0	1,206,560	100.3	339,738	102.6	599,490	102.0	17,322	102.5	211	107.7
	船員保険	1,258	93.3	12	60.0	669	91.5	218	97.3	359	96.0	8	40.0	-	-
	共済組合	386,498	98.8	3,560	101.0	218,905	97.9	59,096	100.8	104,864	99.5	2,991	101.5	73	114.1
	健保組合	927,993	102.0	8,304	103.9	512,574	101.1	148,536	103.1	258,466	103.0	7,397	103.2	113	114.1
	医療保険合計	3,481,063	101.1	31,191	103.0	1,938,708	100.3	547,588	102.6	963,179	102.0	27,718	102.5	397	110.6
被扶養者	協会けんぽ	1,543,859	96.9	14,815	96.4	895,246	95.7	213,594	102.0	419,031	96.9	11,919	96.3	1,173	112.4
	船員保険	1,913	98.8	25	108.7	1,118	101.9	205	89.9	555	96.4	20	133.3	10	76.9
	共済組合	305,296	98.0	2,611	98.4	177,355	96.6	44,247	102.9	80,825	98.3	1,993	98.0	258	155.4
	健保組合	846,481	98.2	7,921	99.0	490,978	97.0	119,290	102.7	227,795	98.3	5,887	97.7	497	120.6
	医療保険合計	2,697,549	97.4	25,372	97.4	1,564,697	96.2	377,336	102.3	728,206	97.5	19,819	96.9	1,938	118.5
	未就学者(再掲)	808,040	97.9	8,554	100.5	491,105	96.8	81,049	107.9	226,578	97.2	5,193	100.6	754	118.7
前期高齢者	7割	511,228	101.7	6,397	98.7	288,357	101.2	60,894	102.9	155,443	102.4	6,175	99.0	137	89.0
	一般	192,443	112.2	2,821	107.4	109,519	111.6	19,990	116.0	60,048	112.4	2,717	107.7	65	127.5

(注) 1. 合計欄は、食事・生活療養費を除く件数とその対比である。  
 2. 老人保健の7割・9割とは給付率の違いであり、7割は一定以上所得者、9割はそれ以外の者が対象である。  
 3. 前期高齢者欄の7割・一般とは給付率の違いであり、7割は65歳以上70歳未満の被保険者と被扶養者及び70歳以上75歳未満の現役並み所得者、一般はそれ以外の者が対象である。  
 なお、前期高齢者一般については、「70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置」分を含まない。

平成 29 年度 種類別診療報酬等確定件数・金額及び対比表

(金額)

平成 29 年 3 月 診療分 ～ 平成 30 年 2 月 診療分

(16) 富山 支部

種別 管掌別	合計		内科入院		内科入院外		歯科		調剤		食事・生活療養費		訪問看護療養費		
	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	
協会けんぽ	51,460,447	101.9	17,320,935	102.4	20,563,176	101.1	4,783,110	102.4	8,442,501	102.9	283,289	97.4	67,435	105.0	
船員保険	45,437	70.0	17,202	74.9	15,157	55.6	4,482	79.2	8,248	99.8	244	48.2	104	44.3	
共済組合	7,190,285	98.7	2,093,448	99.3	3,100,929	97.7	738,130	100.3	1,209,444	99.3	33,372	93.8	14,961	130.9	
健保組合	20,201,560	101.4	6,310,669	101.6	8,346,410	100.5	2,055,704	102.5	3,371,503	103.1	94,149	91.6	23,125	109.4	
医療保険合計	78,897,729	101.5	25,742,254	101.9	32,025,672	100.6	7,581,427	102.2	13,031,696	102.6	411,055	95.7	105,625	108.9	
老人保健	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9割	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自衛官等	16,432	113.3	6,823	98.8	6,353	141.9	1,699	97.9	1,472	116.1	83	73.9	-	-	
生活保護	3,224,566	97.2	1,970,501	94.9	602,655	100.0	60,689	98.0	398,736	105.5	177,319	94.5	14,667	135.6	
戦傷病者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自立支援	980,554	103.3	204,055	93.7	583,175	104.4	3,142	109.3	159,413	109.2	9,055	81.4	21,713	172.1	
児童福祉	50,371	99.3	40,224	97.7	590	122.1	-	-	-	-	9,556	105.4	-	-	
原爆医療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
精神保健	20,046	195.8	17,622	195.8	-	-	10	-	-	-	2,414	195.1	-	-	
麻薬取締	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
母子保健	45,301	108.8	39,300	105.7	-	-	-	-	-	-	6,001	134.4	-	-	
中国残留邦人等	5,420	164.5	2,109	-	1,564	112.6	68	44.9	1,631	93.0	48	-	-	-	
感染症	3,420	137.4	1,894	129.2	1,029	170.5	-	-	109	164.9	388	109.5	-	-	
医療観察	537,646	122.0	529,803	122.1	7,843	113.2	-	-	-	-	-	-	-	-	
肝炎治療	59,536	79.3	339	41.9	10,432	61.1	-	-	48,765	85.3	-	-	-	-	
老人被爆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特定疾患等	4,256	91.0	40	41.0	3,519	106.0	26	...	653	52.4	18	135.6	-	-	
小児慢性	144,617	104.3	23,817	101.4	76,646	100.8	60	...	41,805	113.2	1,421	101.0	867	114.4	
措置等医療	11,961	91.9	5,152	92.7	4,028	99.7	647	67.6	1,366	146.6	768	50.1	-	-	
難病医療	570,510	110.7	86,364	105.8	223,860	113.8	36	...	250,103	111.8	3,778	72.0	6,370	81.6	
特定B型肝炎	279	148.4	-	-	279	148.4	-	-	-	-	-	-	-	-	
石綿救済	1,890	206.7	462	411.1	1,350	174.2	-	-	57	247.9	21	...	-	-	
自治体医療	-1	-	-	-	-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
総計	84,574,531	101.5	28,670,760	101.7	33,548,995	100.7	7,647,805	102.1	13,935,805	102.8	621,925	95.4	149,242	115.6	
被保険者	協会けんぽ	25,075,470	103.4	7,797,478	105.2	10,173,463	102.2	2,769,317	102.0	4,209,551	104.0	111,901	101.0	13,761	130.6
	船員保険	11,163	66.0	2,916	40.2	4,122	87.2	1,905	80.6	2,186	89.0	34	26.7	-	-
	共済組合	4,061,406	98.3	1,127,019	97.1	1,764,747	98.7	449,541	100.0	699,857	98.4	16,540	89.7	3,702	141.3
	健保組合	10,586,244	103.3	3,163,966	104.0	4,332,235	102.5	1,192,010	102.9	1,849,879	104.5	43,687	95.9	4,466	100.1
	医療保険合計	39,734,282	102.8	12,091,379	104.0	16,274,567	101.9	4,412,773	102.0	6,761,473	103.5	172,161	98.4	21,929	124.4
被扶養者	協会けんぽ	16,228,402	98.4	5,479,135	98.9	6,760,858	97.1	1,396,858	101.4	2,440,288	98.9	105,673	92.7	45,590	102.9
	船員保険	16,703	115.3	6,384	203.9	5,914	97.3	1,563	70.8	2,646	92.6	91	145.8	104	73.5
	共済組合	2,855,952	100.4	856,530	103.8	1,246,429	97.9	273,424	101.4	454,470	100.4	14,094	101.6	11,005	124.9
	健保組合	8,002,890	99.2	2,522,123	98.2	3,435,860	98.3	757,206	101.3	1,229,797	102.6	41,173	90.8	16,731	111.6
	医療保険合計	27,103,947	98.8	8,864,173	99.2	11,449,061	97.6	2,429,051	101.3	4,127,202	100.2	161,031	92.9	73,430	107.5
	未就学者(再掲)	7,397,183	97.2	2,625,904	99.4	3,436,473	95.4	428,284	104.7	858,539	94.2	20,457	95.9	27,527	105.5
前期高齢者	7割	8,293,594	100.5	3,244,215	98.5	2,986,138	101.4	529,242	102.5	1,477,339	102.9	50,557	91.6	6,103	76.7
	一般	3,765,906	110.2	1,542,487	109.8	1,315,907	110.7	210,361	116.5	665,683	108.2	27,305	103.6	4,164	131.7

(注) 1. 老人保健の7割・9割とは給付率の違いであり、7割は一定以上所得者、9割はそれ以外の者が対象である。  
 2. 前期高齢者欄の7割・一般とは給付率の違いであり、7割は65歳以上70歳未満の被保険者と被扶養者及び70歳以上75歳未満の現役並み所得者、一般はそれ以外の者が対象である。  
 なお、前期高齢者一般については、「70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置」分を含まない。  
 3. 数値は、突合点検による原審査結果を反映したものである。



平成 29 年度 月別取扱件数及び金額

(件数)

(16) 富山支部

種別 月別	総計 件	審査及び支払事務を取扱うものの										
		医療保険 件	老人保健 件	自衛官等 件	生活保護 件	戦傷病者 件	自立支援 件	児童福祉 件	原爆医療 件	精神保健 件	麻薬取締 件	母子保健 件
総計	7,086,452	6,882,283		1,097	61,751		80,866	649		73		428
29年 3月	638,523	621,307		100	5,177		6,582	55		8		24
4月	565,064	548,482		77	5,172		6,340	54		8		25
5月	598,427	581,528		119	5,269		6,490	55		7		28
6月	587,940	570,974		96	5,301		6,647	55		10		36
7月	581,581	564,230		69	5,140		6,758	56		6		51
8月	576,291	558,783		113	5,217		6,828	52		4		16
9月	569,317	552,303		77	5,121		6,755	52		5		21
10月	594,977	577,908		68	5,139		6,885	51		4		58
11月	589,109	571,804		84	5,321		6,877	54		6		50
12月	607,172	589,526		104	5,131		7,013	48		4		39
30年 1月	585,386	569,119		117	4,835		6,917	59		5		40
2月	592,665	576,319		73	4,928		6,774	58		6		40

種別 月別	審査及び支払事務を取扱うものの											
	中国残留邦人等 件	特定疾患等 件	小児慢性 件	措置等医療 件	難病医療 件	特定B型肝炎 件	老人被爆 件	感染症 件	医療観察 件	肝炎治療 件	石綿救済 件	自治体医療 件
総計	175	301	7,822	1,414	45,798	52		507	382	2,798	56	
29年 3月	14	20	750	136	4,038	5		32	30	240	5	
4月	21	35	636	108	3,778	6		46	30	242	4	
5月	17	40	616	104	3,853	2		47	29	219	4	
6月	17	24	607	104	3,748	6		37	29	245	4	
7月	16	26	689	111	4,132	4		28	31	230	4	
8月	12	16	784	113	4,004	1		39	33	270	6	
9月	10	21	613	107	3,909	9		31	35	244	4	
10月	15	25	607	131	3,759	4		51	30	236	6	
11月	16	18	580	121	3,870	3		45	29	226	5	
12月	16	25	705	129	4,115	5		47	37	224	4	
30年 1月	12	29	615	123	3,193	3		49	33	232	5	
2月	9	22	620	127	3,399	4		55	36	190	5	

平成 29 年度 月別取扱件数及び金額

(金額)

(16) 富山支部

種別 月別	総計 千円	審査及び支払事務を取扱うものの										
		医療保険 千円	老人保健 千円	自衛官等 千円	生活保護 千円	戦傷病者 千円	自立支援 千円	児童福祉 千円	原爆医療 千円	精神保健 千円	麻薬取締 千円	母子保健 千円
総計	84,574,531	78,897,729		16,432	3,224,566		980,554	50,371		20,046		45,301
29年 3月	7,466,916	6,977,027		1,468	283,917		81,756	4,459		4,171		2,608
4月	6,571,852	6,110,584		461	267,353		78,205	4,085		1,628		2,780
5月	7,010,738	6,524,743		2,305	279,246		83,652	4,196		1,488		3,084
6月	6,914,328	6,443,718		1,311	273,184		79,273	4,290		2,021		3,721
7月	7,059,622	6,589,416		1,701	265,749		77,982	4,507		1,938		5,261
8月	7,071,958	6,604,612		1,483	253,328		85,555	4,086		1,465		1,580
9月	6,830,278	6,387,415		1,895	242,214		78,785	4,010		1,444		2,251
10月	7,193,079	6,703,444		1,465	280,479		79,083	3,897		1,027		6,545
11月	7,021,704	6,556,780		3,743	262,056		81,479	4,278		2,168		5,486
12月	7,334,498	6,841,823		1,278	274,673		90,420	3,347		705		3,818
30年 1月	7,134,015	6,634,957		1,260	287,773		90,487	4,718		797		4,406
2月	6,965,543	6,523,210		-1,940	254,592		73,879	4,498		1,193		3,760

種別 月別	審査及び支払事務を取扱うものの											
	中国残留邦人等 千円	特定疾患等 千円	小児慢性 千円	措置等医療 千円	難病医療 千円	特定B型肝炎 千円	老人被爆 千円	感染症 千円	医療観察 千円	肝炎治療 千円	石綿救済 千円	自治体医療 千円
総計	5,420	4,256	144,617	11,961	570,510	279		3,420	537,646	59,536	1,890	-1
29年 3月	316	67	13,697	1,080	48,729	26		70	41,371	5,957	195	
4月	325	556	10,925	852	46,557	34		147	42,380	4,866	114	-1
5月	277	794	11,555	763	51,748	9		191	41,879	4,691	116	0
6月	245	253	11,662	702	45,015	35		81	43,374	5,326	118	
7月	346	352	12,588	833	48,017	10		279	45,196	5,332	114	
8月	193	236	14,024	781	47,804	1		435	50,516	5,594	264	
9月	974	391	12,191	500	46,471	67		465	46,042	5,065	97	
10月	1,296	580	11,348	3,301	47,979	24		505	47,497	4,349	261	
11月	560	211	9,580	696	47,280	19		301	41,939	4,945	184	
12月	372	360	13,198	855	51,963	25		151	46,494	4,843	175	
30年 1月	199	335	12,428	723	43,657	11		561	46,713	4,834	157	
2月	316	120	11,423	874	45,291	17		233	44,245	3,735	95	

(注) 数値は、突合点検による原審査結果を反映したものである。